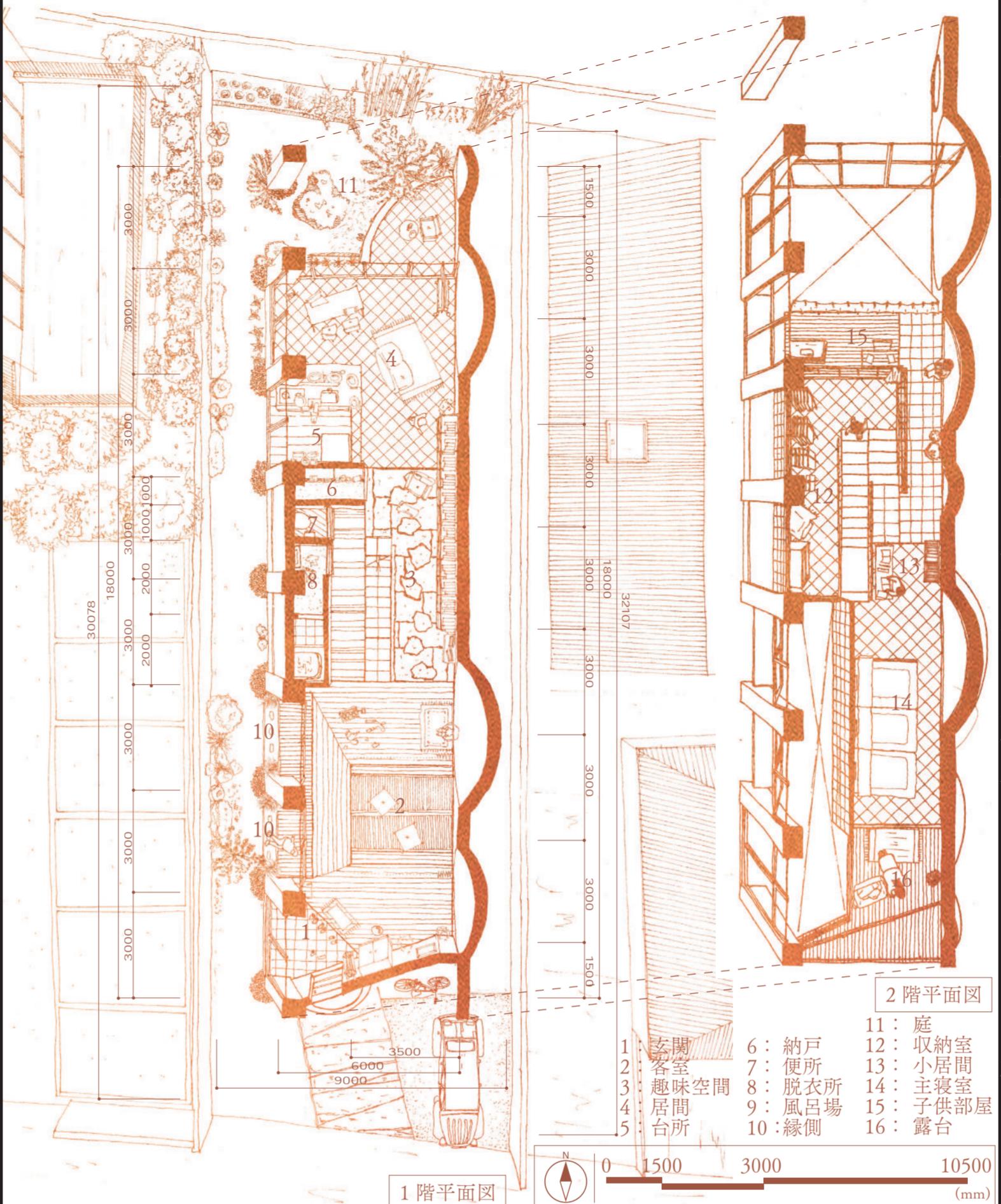
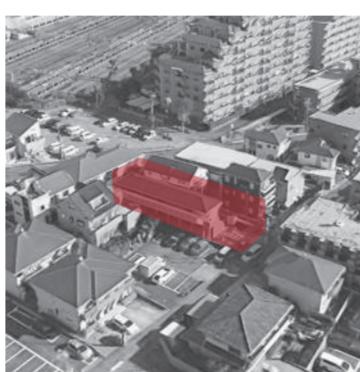


# 西陽と家



1. 習志野市の狭小地



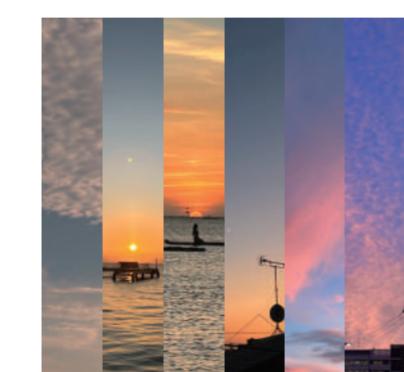
敷地: 千葉県習志野市谷津

33,000×9,000[mm]

第一種低層住居地域

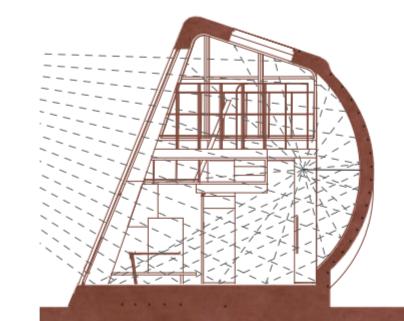
住宅に囲まれ、朝から日中にかけ  
日が入らず西陽がよく入る敷地である。

2. 西陽との暮らし



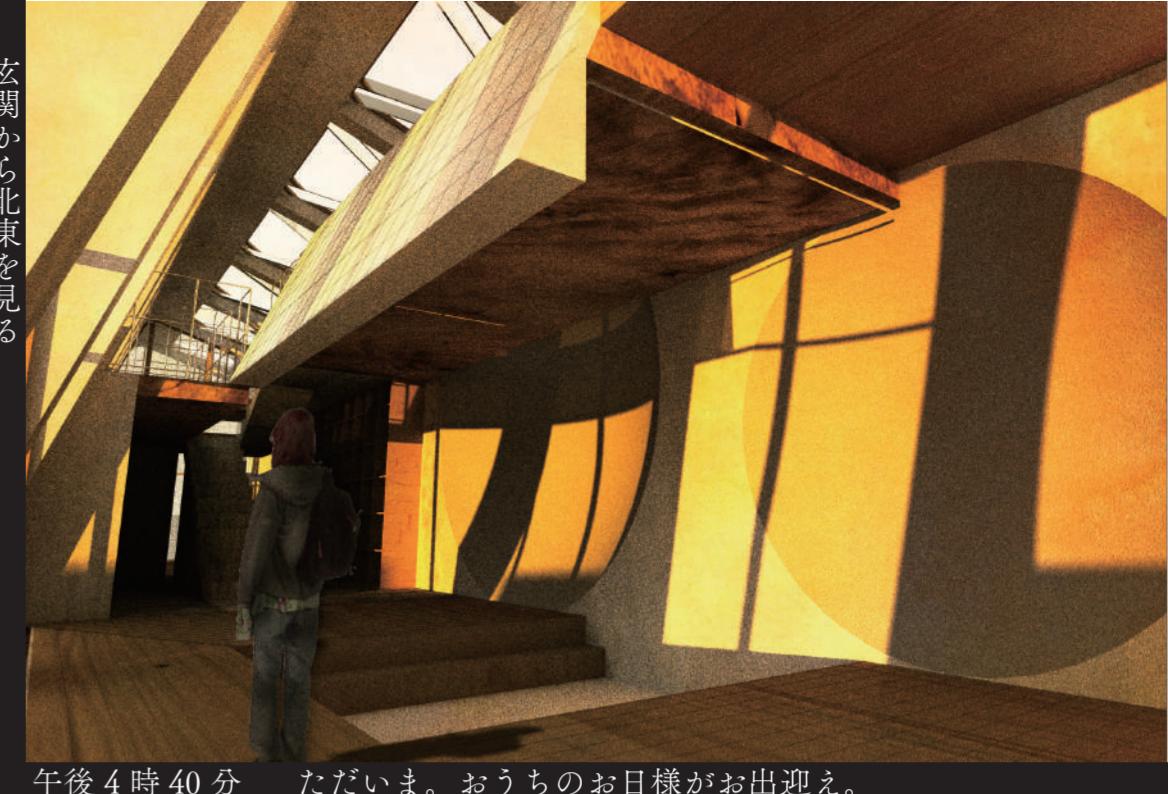
西陽が部屋を染め、夜を迎える支度をする。  
嫌われがちな西陽を暮らしのリズムを生む  
存在として受け止め、長い夜を過ごしたくなる  
住宅を設計した。西陽を受けることで輝くこの  
家は、まっすぐに帰りたくなる家として日々の  
終わりにそっと寄り添う。

3. 西陽とパラボラ



この建物に表れるパラボラアーチは  
西陽を集約、拡散させる効果を持つ。  
一軸的な時間の流れを強調する西陽は  
パラボラで受けることで柱の裏までも照し、  
西陽しか入らない狭小地に対して、  
ムラのない均質な様相を作りだしている。

玄関から北東を見る



趣味空間手前から北川を見る



北側リビングから家族と庭と光を見る



小居間から北側の通りを見る

